

新型コロナウイルスクラスター発生対応から収束まで
令和4年1月6日から令和4年2月2日までの経過

新型コロナウイルス感染者 利用者5名
職員8名

※利用者名をB1様からB5様まで職員名をA1からA8にてしています。
(※抗原検査も含む)

合同会社らいふさぽーと真

- サービス付き高齢者向け住宅まゆの里～おおわん～
- デイサービスまゆの里～おおわん～
- ヘルパーステーションまゆの里～おおわん～

合同会社らいふさぽーと真

桑江 亮



施設の概要

※サービス付高齢者向け住宅まゆの里おおわん
(2階17居室、3階17居室) 定員34名

※デイサービスまゆの里おおわん (通常規模)
利用者：32名、外部利用者3名

※ヘルパーステーションまゆの里おおわん

※居宅介護支援事業所まゆの里おおわん

：施設長、統括責任者、副統括責任者

：事務員2名：介護職17名（サ高住、ヘルパー、デイ、夜勤）

：看護師2名

：機能訓練2名

：調理職員5名

計31名



発症かなと思った瞬間から陽性となった経緯

1月6日（木）1日目【発症者1名 職員1名（合計1名→利用者0名・職員1名）】

- ・職員A1より本日KT=39.8°Cの熱があると電話報告あり。
 - ・抗原検査キットを本人宅ポストへ投函し検査依頼。陽性。
 - ・読谷村コロナ対策推進課へ抗原検査陽性との報告済。
 - ・読谷村福祉課PCR検査を依頼。
人数制限があり職員A1へ聞き取りし接触した利用者21名採取確保（1/7）
 - ・職員A1 PCR検査及び診察、熱さましを処方される。
 - ・デイサービスを16時30分に終了。夕方より個室対応とする。
 - ・2階、3階フロアゾーンニング実施。
談話室（グリーン）廊下（イエロー）居室（レッド）で色分け対応。
 - ・利用者に熱症状があり、B1様（レッドゾーン）B2様（レッドゾーン）
 - ・B1様、B2様を抗原検査にて実施し陰性。
 - ・外部利用者家族へ連絡し休業の連絡
- ※BCP業務縮小計画（排泄介助、食事の提供、職員体制等）



1月7日（金）2日目 【発症者なし（合計1名→利用者0名・職員1名）】

デイ休業、PCR検査依頼

- ・本日よりデイサービスを休業。相談員よりケアマネージャーへ連絡
- ・11時読谷村役場コロナ推進課、福祉課、検査業者が来所し利用者20名PCR検査実施。



1月8日（土）3日目【発症者1名 利用者1名(合計2名→利用者1名・職員1名)】

- ・ 1月8日（土）11時 職員A1 新型コロナ陽性確定。
- ・ 沖縄県コロナ対策へ連絡。
- ・ 中部保健所へ連絡するも通話不可。
- ・ 13時利用者B1様 KT=37.5℃ 抗原検査にて陽性（利用者1名）

※利用者B1様 中部病院へ連絡し病院受診の依頼。入院調整受け入れ可能との事。
職員病院対応（防護服、N95、フェイスシールド）



1月8日（土）3日目続き【発症者1名 利用者1名（合計3名→利用者2名・職員1名）】

※読谷村役場福祉課、検査センターより電話連絡あり、

PCR検査の結果利用者20名陰性との報告を受ける。

- ・ 15時 沖縄県新型コロナ対策室へ陰性の連絡。
- ・ 外部デイ利用ご家族へ陰性の報告。
- ・ 15時沖縄県コロナ対策室より、1月9日（日）医師派遣、PCR検査実施利用者11名職員11名対応可能。名簿作成連絡あり。
- ・ 18時 利用者B2様 $KT=39.0^{\circ}\text{C}$ の高熱があり抗原検査を実施し陽性反応。病院受診連絡するも調整難航。施設で体温、酸素、脈、呼吸状態を確認。

※2人目もすぐに調整できると思っていた。

各病院に問合せするが

沖縄県新型コロナ対策本部へ連絡してから入院調整との事



1月9日（日）4日目【発症者なし（合計3名→利用者2名・職員1名）】

- ・ 11：00沖縄県新型コロナ対策本部より医師、看護師、沖縄県対策本部職員来所
- ※Drより利用者の感染状況確認
- ※看護師による感染者のゾーニングの確認 （ゾーニングが甘かった）
- 防護服（PPE）の着脱方法、
- ※指揮系統、書類、報告方法等の指導。
- ※利用者、職員にPCR検査を実施
- 利用者：鼻咽頭ぬぐい方法。10名 職員：10名



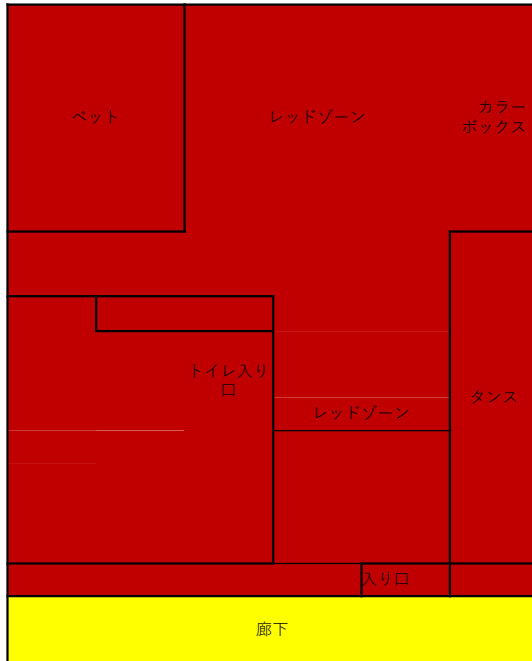
1月10日（月）5日目

【発症者2名 利用者1名 職員1名（合計5名→利用者3名・職員2名）】

9：00 Dr回診にて来訪

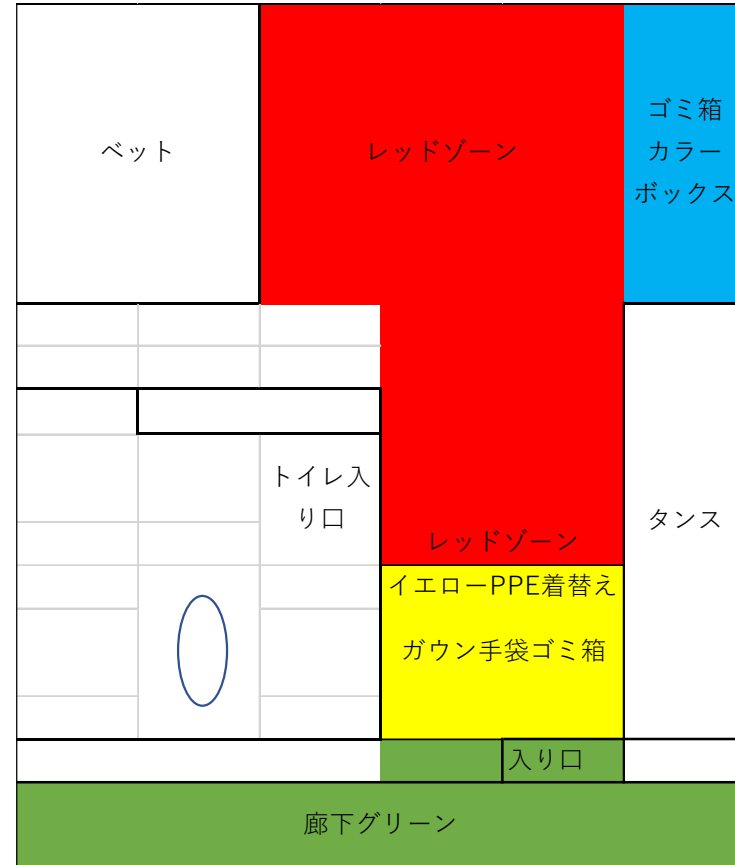
- ・ 利用者に熱症状あり抗原検査実施。B3様（陽性反応）あり利用者計3名
- ・ 1月9日（日）の県のPCRの結果で利用者B3様の陽性確認ができ利用者計3名同時に職員A3が陽性となり職員計2名 Drより発生届を提出。
- ・ B2様の熱やせき込み悪化しDr指示にて、抗体カクテル点滴実施（職員にて通院対応）入院できず施設で観察することとなる。

ゾーニング指導前

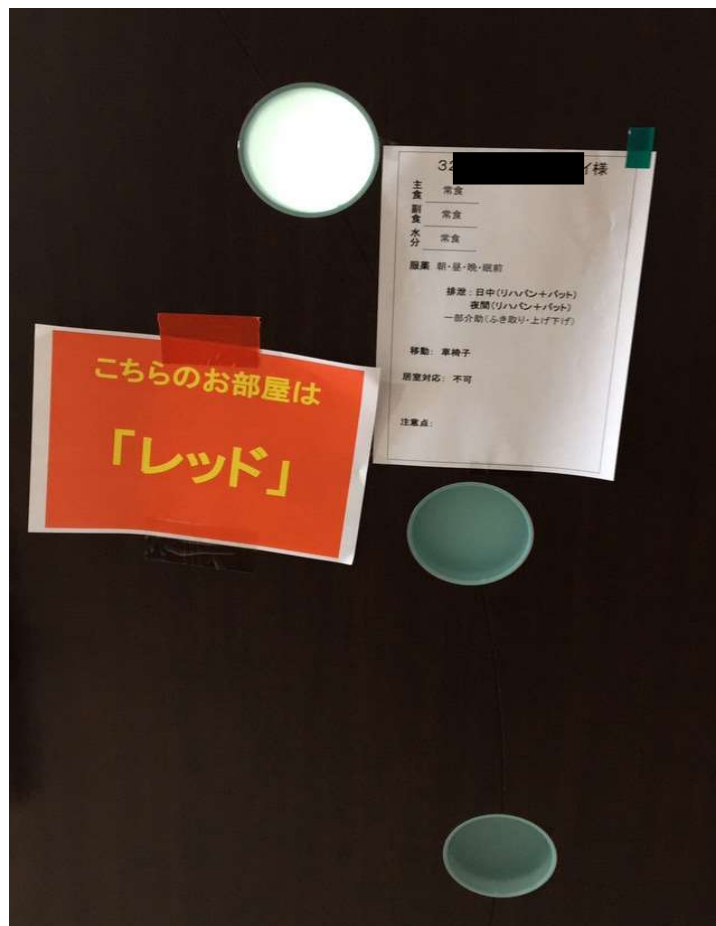


談話室

ゾーニング指導後



居室前レッドゾーン張り紙



指揮系統

1. 指揮系統

Gドライブ
ID: [redacted]
PW: [redacted]
LINE: [redacted]

感染対策 外部調整 物資管理

2. 感染状況 (1%) (入居者 職員)
12:00現在 → 12:45現在

0 入居者
3F [redacted] 0 陽性
2F [redacted] 0 陽性
計

0 職員 1/2 (累計) 3/56 陽性

	全	陽性	休
介ゴ	28	3	0
番丁	3	2	0
その他職員	5	0	0
計	36	5	0

→ 1/4.5 + 1/4.5 感染
→ 1/6 AM + 1/4.5 感染 + 1/4.5 感染

入居者さん
体調不良時: コラへ連絡!!

職員さん
体調不良時: 検査 & できれば休む **休むためBCP**
(目標せいつの業務6~7割)
そして感染対策!

感染対策のルール (又は時相法) 略「P.P.E.」
個人防工具の使用

ゾーニング
レッドゾーン: 陽性者お部屋 (ヤンキー部屋ATM)

0 ケア時のルール
・陽性者: マスク(付シカ) & イシールド・カウチン・手袋
・非陽性: マスク(付シカ)のみ ※ 感染症あれば陽性者扱い

職員さんへのケア
0 ココゴール (印刷物配布) 感染症に感染済み

15:45 7/16 20:15迄
PM 10 (6:00) 17:00迄
至 10 (15:30)
7/10 (19:00) 20:00迄
ATM
20:00迄

全体中(送り)
9:00迄 16:00迄
2F迄

物資管理 | 在庫量 | 日次報告

1月11日（火） 6日目 【発症者3名 職員3名（合計→利用者3名・職員5名）】

- 6:00 職員A4が発熱を訴え抗原キット実施（陽性）
- 7:00 職員A3が体調不良を訴え救急搬送 抗原検査、PCR検査を行い陰性
- 10:00 沖縄県健康管理利用者健康観察
- 10:30 職員発熱A5（38.3）、抗原キット（陰性）帰宅指示
- 12:00 沖縄県高齢者福祉介護課へ電話し物資確保の電話
- 12:30 沖縄県感染症対策課看護師より状況確認の為に来訪
- 17:00 沖縄県健康管理より利用者様の状況確認済
- 17:00 職員A4が病院受診しPCR陽性となり職員3名となる
- 18:00 救急搬送されたA3職員がPCR検査を実施し陽性となり職員4名となる
- 19:00 発熱症状を訴えにて職員A5自宅で抗原検査（陽性）
- 20:00 沖縄県高齢者福祉介護課に応援職員派遣依頼書作成し要請
(沖縄県職員派遣事業委託業者)



1月12（水）7日目 【発症者なし（合計→利用者3名・職員5名）】

PCR検査依頼（読谷村）

9：00 微熱が続いている利用者や陽性者との接触があった職員を読谷村コロナ推進課へPCR検査を依頼。利用者3名・職員3名PCR検査実施

11：00 応援職員派遣調整

1月13日（木）8日目 【発症者2名 職員2名（合計9名→利用者3名・職員6名）】

物資調整、クラスター認定

7：00 職員A6今朝発熱との連絡あり、喉の痛みが少しあった。

11：00 県高齢者福祉介護課へガウン不足を報告し中部保健所より支給あり。

16：00 読谷村よりPCR検査結果の報告あり利用者は陰性。

※職員2名A5、A6がPCR検査の結果陽性となり職員の発症が計6名となる。

※中部保健所より利用者B3様との接触した職員の名簿提出依頼。

（クラスター認定）



1月14日（金） 9日目 【発症者なし】（合計9名→利用者3名・職員6名）

物資調整、看護師派遣、読谷村にPCR検査依頼

県高齢者福祉介護課へフェイスシールドの依頼を中部保健所より18枚支給あり。

11：30 Dr訪問。陽性者2名B2,B3の利用者を回診される。

12：00 読谷村コロナ対策室にPCR検査を依頼。微熱が続いている利用者2名、職員1名

コーディネート事業事務局より 職員（看護師）派遣。本日より15日（土）までの応援



1月15日（土）10日目 【発症者1名 職員1名（合計→利用者3名・職員7名）】

職員が陽性

陽性利用者2名県健康管理より連絡あり健康状態説明。

読谷村PCR検査利用者2名陰性

職員A7がPCRの検査陽性となり職員の発症が計7名となる。

受付、デイサービス消毒作業実施。

コロナ感染した職員の体調確認（電話連絡）

1月16日（日）11日目 【発症者なし（合計→利用者3名・職員7名）】

職員A1番目感染者、療養期間終了し出勤。

利用者は発熱症状なく経過良好。



1月17日（月） 12日目 【発症者なし（合計→利用者3名・職員7名）】

15：00 利用者B1様、1番目に発症の方 入院治療 誤嚥性肺炎の為抗生剤治療にて5日間延長

17：00 中部保健所より電話連絡あり。利用者B2様、2番目に発症した方が本日付けで1/17隔離解除。1/18バイタル測定し朝食から通常対応、接触可能。レッド解除

1月18日（火） 13日目

【発症者1名 利用者1名（合計11名→利用者4名・職員7名）】

9：30 中部保健所スクリーニング検査PCR検査実施（利用者26名）

10：00 （職員）県事業にて定期PCR検査実施

18：45 利用者B4様1名陽性となり利用者計4名となる。ゾーニング他実施
B4利用者キーパーソンへ連絡済



1月19日（水）14日目 【発症者なし】 合計11名→利用者4名・職員7名

認知症の方の隔離対応難しさ

9:00 **利用者B4様**より報告。認知症利用者B様が、マスクなしで自分の部屋で話をした。心配なので職員に連絡した。

対応策を検討し居室レットゾーン、廊下にテーブル設置する。

お腹が空いたと廊下を徘徊するので廊下にテーブルを置き他居室へ入らないよう対策する、

※対策するも部屋から出て落ち着きないので娘へ連絡。

陽性者との接触と濃厚接触者疑いがあるので居室隔離となる旨を説明し同意を得る。



1月20日（木） 15日目 【発症者なし（合計11名→利用者4名・職員7名）】

・ 宿泊事業の調整、職員PCR検査の結果陰性

・ 感染した利用者や職員が隔離期間終了1月22日までに4名現場復帰調整

・ デイサービス再開調整

職員同居家族の感染予防の為、1月9日（日）より読谷村社会福祉施設等職員専用宿泊所設置事業利用を役場申請し職員8名宿泊。1月28日（金）まで延長。

10:00 県事業PCR検査の結果 職員全員陰性と報告あり。

11:00 職員A2（1/20解除1/21出勤）A4（1/21解除1/22出勤）職員A3（1/19解除1/22出勤）A5（1/21より中部保健所より出勤可能との連絡あり）

※利用者B3様：中部保健所より電話連絡あり。本日付けで1/20隔離解除。1/21バイタル測定し朝食から通常対応、接触可能。レット解除

16:00 沖縄県コロナ対策室担当より連絡あり

①利用者、職員の感染状況の確認。デイサービスの再開に関する相談。

※県コロナ対策本部にてデイ再開等の相談も可能。

1月21日（金） 16日目 【発症者なし（合計11名→利用者4名・職員7名）】

認知症利用者の対応の難しさ

・濃厚接触者で認知症の利用者様が徘徊し他利用者居室に入室
経緯：8時45分頃に朝食の片付けに行くと本人の姿がなく、隙をみて向かいの利用者様の部屋で会話をされる。滞在時間は5分以上が予想される為、本日、11時よりレッドゾーンでの対応。

A2職員看護師が本日より出勤。



1月22日（土） 17日目 【発症者1名 職員1名（合計12名→利用者4名・職員8名）】

職員（6日間）感染者がしばらく出ず安心していただけ矢先

本日より職員A3, A4, A5, が出勤。

11:00 利用者家族へ状況報告の連絡。

13:30 職員A8が昨日より熱症状あり、抗原検査にて陰性、KT=39.0 発熱外来受診声掛けするもすぐに結果がでないとのことで村外の病院を紹介され順番待ち。

職員A8がPCR検査で陽性にて職員感染が計8名となる。

1月23日(日) 18日目 【発症者なし】 (合計12名→利用者4名・職員8名) 経過観察

1月24日(月) 19日目 【発症者1名 利用者1名 (合計13名→利用者5名・職員8名)】

利用者が陽性となり、再度感染対策、ゾーニング

11:30 中部保健所スクリーニング検査実施

<利用者25名> <職員 25名> 利用者職員49名陰性

利用者B5様、PCR検査にて陽性。利用者感染が合計5名となる。

B5様 23:40KT:38.1、SPO2:94~96%、体調不良(+)

1月25日(火) 20日目 【発症者なし】 合計13名→利用者5名・職員8名)

1月26日(水) 【発症者なし】 合計13名→利用者5名・職員8名】

新型コロナ陽性を受け止められない利用者。自力でトイレに移動したい。

0:00 B5様 居室にて転倒、KT:38.4、BP:135/85、P:120、SPO2:94%

10:20 医師により回診あり。「発熱あるが呼吸苦なし。精神面ショックが大きい
ため、適宜声掛け対応するように」との助言あり。

15:00 居室にて転倒 意識疎通良好。左脛に裂傷2cm深さ出血。BP:142/60グ
ループライン写真添付報告し中部病院受診
職員対応 (N95、ガウン、フェイスシールド着用)

感染者状況が落ち着き始めました。

1月27日（木）

13：00 利用者B1様 本日病院より退院。

1月28日（金）

17：30 B4様、レッド解除

1月29日（土） 利用者・職員平常

1月30日（日） 利用者・職員平常

1月31日（月）

9：30 PCR検査実施（鼻咽頭） <利用者/職員24名合計48名>

2月2日（水）

※利用者職員全員陰性。感染予防対策を徹底しながら平常に戻す。



コロナ発生前の反省

〈1〉

- ①BCP業務縮小を看護、介護、夜勤、調理へ責任や役割を依頼するも前準備ができず、感染してから縮小となる。準備不足
- ②利用者のマスク着用声掛け、感染した職員がウレタンマスク、布マスクしていたので不織布マスクの推奨
- ③室内換気対策（冬場で窓やドアの開閉が難しかった。）
- ④自分たちの施設では感染はないと思い込みがある。普段より研修を受ける事によりある程度危機感が持てる。



コロナ発生時の反省や気づいた事

〈2〉

①医療ひっ迫時にはすぐに入院受け入れできない。すぐに入院できると勘違いしていた。施設で療養する準備不足

②いざとなるとゾーニングができず対応に苦慮した。（部屋の細かいゾーニングができなかった）

③入居者を部屋に隔離をするが、ストレスが溜まって部屋から出ようとしたりするのを声かけしたり、廊下にテーブルを置いたりして距離を置き対応。

④県コロナ対策本部に連絡したらいいと思い考えているが部署がはっきりせず、対応が困惑

※経過報告、物品依頼 職員派遣依頼、入居者状況確認

⑤職員も責任感があり喉の痛みがあるも熱がないと出勤。PCR検査を行うと陽性となり職員が少ないと出勤する事もあった。

⑥感染状況拡大傾向で濃厚接触者の疑いの職員が帰宅困難となったが宿泊事業で家庭内感染を防ぐことができた。（読谷村宿泊事業）



コロナ発生時の反省や気づいた事②

〈2〉

- ⑦抗原検査を入居者、職員で検査するが赤のラインがくっきりする方と薄くて陽性が見落とす危険があった。高熱出ている職員も反応が出にくかった感じがする。
(複数確認が必要)
- ⑧職員の疲労感があり、声かけが少ない。指揮系統や役割を確認しながら行うチームワークが大事
- ⑨A1職員に利用者の接触者を確認しPCR検査リストを作成したが、接触者以外の方の感染が判明。できるだけ全員検査ができる体制
- ⑩物品が減るのが早い(ガウン、手袋)常に在庫確認が必要
- ⑪発生届の住所を確認(住所を施設以外の住所、連絡先をキーパーソンに行うと保健所、沖縄県感染症対策課自宅療養グループ健康管理センターより健康観察時の確認が難航する。(パルスオキシメーターがキーパーソン宅に届いていた)
- ⑫コロナ陽性者が出た場合に新型コロナ対策本部へ(施設支援用。基本情報記入シート)報告すると思いFAX送信してしまった。実際は状態悪化時の入院調整時に必要。入院レベルでないと対応が不可。
- ⑬コロナ発症した利用者の病院受診の対応。家族への依頼が難しい。送迎者も感染リスクが高い。(防具服、N95マスク、手袋)にて対応。

良かった点

〈3〉

- ①出勤時の体温測定、健康確認をすることで職員の発熱の把握ができた。
- ②コロナ発症後に県コロナ対策本部、医師、看護師が来所し入所者の状況、ゾーニング、BCP作成、指揮系統の確認、物品の調整等の対応。
- ③グループラインにて県コロナ対策本部、医師、看護師、施設職員にて連携が図れた。利用者の体調異変や対応等親身になり対応してくださった。
- ④読谷村役場 福祉課、新型コロナ推進課（PCR検査、読谷村社会福祉施設等職員宿泊所設置事業）物資の相談やPCR検査の調整
- ⑤コロナ発症後にワクチン接種を希望する職員がいた。未接種の方の声掛け（職員の負担がかからないよう）
- ⑥5月19日（木）デイ職員が新型コロナに感染するもゾーニング、体調確認を行い感染拡大予防。
6月3日（金）施設職員感染、2日後にスクリーニング検査を実施し利用者1名陽性出るもゾーニングや感染対策を行い感染拡大が予防できた。